

# 令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 感染症対策課  
 担当名: 感染症・新型コロナウイルス対策  
 内線: 7330 (単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B53	新型コロナウイルス対策事業費		一般会計	衛生費	公衆衛生費	予防費	新型コロナウイルス対策事業費	
事業期間	平成18年度～	根拠法令	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 新型コロナウイルス等対策特別措置法		針路 分野施策	01 0104	災害・危機に強い埼玉の構築 感染症対策の強化	SDGsゴール 3 SDGsターゲット 3-3
1 事業概要			5 事業説明					
新型コロナウイルスの発生・流行に備えた医療体制等を確保することにより、県民の健康被害や社会的影響を最小限に抑える。  留保額の減額 ▲2,599千円			(1) 事業内容 ア 医薬品確保対策事業 5,455千円 新型コロナウイルス等の流行に備え、抗インフルエンザウイルス薬を備蓄し、適切に保管する。 イ 医療体制等整備事業 39,443千円 新型コロナウイルス等の流行に備え、医療体制の確保及び検査体制の強化等を図る。  (2) 事業計画 ア 医薬品確保対策事業 (ア) 抗インフルエンザウイルス薬の適切な保管(タミフル、リレンザ、ラピアクタ、イナビルの備蓄) (イ) 抗インフルエンザウイルス薬の放出(新型コロナウイルス等流行時における備蓄薬の搬出運搬) イ 医療体制等整備事業 (ア) 新型コロナウイルス等発生時の体制構築(国・県・市町村の連携) (イ) 新型コロナウイルスウイルスの検査(衛生研究所における検査) (ウ) 陰圧テントの設置体制の整備(新型コロナウイルス発生時における県備蓄テントの機動力強化) (エ) 医療体制整備促進事業(委託事業) (オ) 地域別対策会議の開催(13保健所各1回) (カ) 新型コロナウイルス等専門家会議の運営(年3回会議開催) (キ) 九都県市新型コロナウイルス等感染症対策検討部会(会議、研修会等の開催) (ク) 特定接種・住民接種体制の構築 (ケ) 新型コロナウイルス等発生拡大期における資機材の備蓄 (コ) 新型コロナウイルス等発生初期における初動体制の整備及び訓練  (3) 事業効果 発生時における県民の健康被害の抑制及び社会機能の維持 抗インフルエンザウイルス薬の行政備蓄目標量の維持 (タミフルカプセル、タミフルドライシロップ、リレンザ、ラピアクタ、イナビル)  (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 九都県市で連携し、広域的な取組を推進。  (5) 抗インフルエンザウイルス薬の期限切れに伴う薬剤購入及び手数料の算定					
2 事業主体及び負担区分								
(1) (2) (県10/10) (3) (県10/10)、(国1/2・県1/2)								
3 地方財政措置の状況								
普通交付税(単位費用) (区分) 衛生費 (細目) 2 感染症等対策費 (細節) 感染症等対策費 (積算内容) 抗インフルエンザ薬購入費								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
9,500千円×3.0人=28,500千円								
予算額			財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
			国庫支出金					
決定額	△2,599						△2,599	42,299
現計額	44,898	1,437					43,461	

## 事業内訳書

事業名	新型インフルエンザ対策事業費		
単位事業名	医療体制等整備事業	予算額	△ 2,599千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△2,228	—	執行留保による需用費の減
役務費	△371	—	執行留保による役務費の減
合計	△2,599	—	